



日・コモロ外相共同プレスステートメント（主要点）



外務省アフリカ第二課

1. 総論

- 自由、民主主義、法の支配及びグッドガバナンスの尊重を含む普遍的価値に基づく協力の一層強化を再確認。
- 法の支配に基づく自由で開かれた海洋秩序を維持・強化し、国際公共財とするための協力を確認。スエフ大臣は、「自由で開かれたインド太平洋戦略」を支持。
- スエフ大臣は、アフリカ開発への日本の計り知れない貢献に謝意。TICAD 7 の成功に向けた協力を確認。

2. 開発協力

- 以下における取組の必要性を再確認。
 - （１）教育・職業訓練に係る能力強化、
 - （２）農業開発及び食料安全保障、（３）海洋に関する協力、
 - （４）環境及び自然災害対策
- 日本による食糧援助、食料安全保障に係る研修の実施を歓迎。
- 気候変動と自然災害が深刻かつ継続的な脅威であることを再確認。
- 「グランド・コモロ島首都内リサイクルセンター」を活用した取組強化を確認。
- 医療機材供与に関する日本の支援を高く評価。

3. 国際場裡での協調

【積極的平和主義】

- スエフ大臣は、「平和安全法制」を含む日本の「積極的平和主義」を賞賛。

【北朝鮮】

- 北朝鮮の核・弾道ミサイル計画の継続を最も強い表現で非難。
- 国際社会に対し、圧力最大化のため、国際社会が安保理決議を完全に履行し、北朝鮮との関係を抜本的に見直す必要性を強調した。
- 北朝鮮に対し、安保理決議及び六者会合共同声明の完全な履行及び拉致問題の即時解決を含む人道上の懸念に関して必要な措置をとるよう強く求めた。

【海洋安全保障】

- 航行及び上空飛行の自由、阻害されない通商、自制、非軍事化、法的及び外交的プロセスの完全な尊重を通じた紛争の平和的解決の重要性を強調。
- 海上の安全に関する協力を推進する必要性を再確認。

【国連安保理改革】

- 国連安保理改革を迅速に進展させる必要性及び政府間交渉におけるテキスト・ベース交渉の早期開始の重要性を強調。
- スエフ大臣は、安保理常任理事国の候補国である日本に対するコモコの支持を表明。

【その他協力】

- スエフ大臣は、2025年国際博覧会誘致選挙における大阪への支持を表明。